

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市体育館
2	指定管理者	公益財団法人 仙台市スポーツ振興事業団
3	指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日
4	施設の利用状況	《利用者数》 令和元年度 348,733人 (前年度比 75.5%) 平成30年度 462,085人 平成29年度 483,633人
		《事業》「通年型」、「短期型」、「自由参加型」の三本柱を軸に、乳幼児からシニアまで幅広い年齢層の方々へ、様々な種目のプログラムを提供。地元商店会と共催でファミリースポーツデーを開催したほか、各種講習会や小学生向けのスポーツ大会を開催。(延べ参加者：38,027人)
5	収支の状況	《費用》 <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者に支払った費用 237,252千円 (239,084千円) ・ その他市が負担した費用 24,140千円 (24,125千円) ()は前年度決算額 《収入》 <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料収入 69,576千円 (90,066千円) ・ その他収入 7,920千円 (8,859千円)
		《実施状況》 令和元年10月10日～30日までスポーツ施設利用者アンケートを実施した。
6	利用者の声	《実施状況》 令和元年10月10日～30日までスポーツ施設利用者アンケートを実施した。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的に基づいた運営方針が確立されており、職員の理解のもとに、施設運営が行われている。	24/24
II 施設の運営管理体制	職員の配置及び開館状況は事業計画に相違なく、経理も適切に処理されている。また、事故防止に向けた体制を構築し、安全に対する職員間の意識の浸透が概ね図られている。	30/30
III 施設・設備の維持管理	建物の内外及び設備について、安全の確保がなされ、利用者が快適に利用できるような状態を保持している。	23/23
IV サービスの質の向上	職員に対する接遇研修を行い、利用者が気持ちよく施設を利用できるような努力をしており、令和元年度に実施した利用者アンケートでは、概ね満足していただいている結果を得ている。	28/28
V 施設固有の基準	協定書及び事業計画書のとおり、スポーツ教室等の自主事業を積極的に行い、市民のスポーツ振興に大きく寄与した。プールの運営については、利用者の安全性が確保されている。	4/4

三 評価総括

《指定管理者（（公財）仙台市スポーツ振興事業団）による自己評価》

今年度も公共スポーツ施設の管理者としての社会的責任を果たし、スポーツの普及振興に努めて運営しました。良好かつ効率的な維持管理のため、プールの缶体塗装の営繕工事中にプール関係の更衣室回り、マンホールなどを修繕しました。また、エアコンの劣化が見られたので、応急処置後、室外機のメンテナンスを実施して利用者に快適な環境を提供するように努めました。

自主事業については「通年型」「短期型」「自由参加型」の三本柱を中心に、乳幼児からシニアまで幅広い年齢層の方々へ、様々な種目のプログラムを提供しつつ、参加者アンケートをもとに、プログラムの見直しを実施しました。また、土曜日の空いたコマを利用して、「YOGA DAY」「週いち！キッズ特別版」を追加で企画し、好評を博しました。

その他、3年目となる、地元商店会と共催で「富沢マルシェ」と同日に「ファミリースポーツデー」を開催し、過去最高の参加をいただき、地域の活性化に貢献できたと自負しています。

また、例年通り多くの大規模イベントが開催され、仙台市の中心となるアリーナとしての役割が果たせたと感じております。全国大会をはじめ、プロチームのホームゲーム、大相撲仙台場所も開催され、多くの方々に足を運んでいただきました。

卓球では12月の「ジャパントップ12卓球大会」が今年度も開催され、回数を重ねることで練度も増し、大会が成功裏に終了でき、主催者からも好評価を得ました。

温水プールの工事による休館や、年度末からの新型コロナウイルス感染症の全世界的な広がりを受けて、大人数のイベントがキャンセルとなってしまう、利用人数が減少してしまいました。そうしたなかでも器具の消毒や、ストレッチマットの消毒用アルコールの設置など衛生面に配慮しました。引き続き新型コロナウイルス感染症予防に努め、快適だけでなく、安心して利用できるように運営していきます。

《施設設置者（仙台市）による評価》

総合評価

施設の設置目的に基づいた運営方針が明確に示されており、職員全体として質の高いサービスの提供と業務の効率化、経費節減に努めている。

施設の運営管理体制については、職員の配置及び開館状況は事業計画に相違なく、経理も適切に処理されており、事故防止に向けた体制を構築し、安全に対する職員間の意識の浸透が概ね図られている。

施設設備の維持管理については、建物の内外及び設備について、安全の確保がなされ、利用者が快適に利用できるような状態を保持している。

サービスの質の向上については、様々なスポーツ教室を開催するなど、市民のスポーツ振興及び普及に寄与している。

S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：文化観光局文化スポーツ部スポーツ振興課